



学校だより 11月号

「りんかい」

ホームページアドレス

<http://www.edogawaku.ed.jp/rinkais>

令和7年10月31日(金)

江戸川区立臨海小学校

校長 西沢 盛和

こころとあたまの、深呼吸。

校長 西沢 盛和

今年の「読書週間」は10月27日(月)から11月9日(日)までです。ぜひこの秋の夜長には、テレビを消して、ゲームやスマホ・タブレットも控えて、子どもと一緒にの空間で本を開いてほしいと思います。子どもと一緒に「こころとあたまの、深呼吸。」をしてみてください。

子どもの読書離れの原因のひとつに「学校の課題として読書を強いることで、本来の楽しみとしての読書体験が薄れている」ということが挙げられています。私はこのことについて重く受け止め、これまで夏休みの課題として各学年全児童全員に課していた「読書感想文」を、昨年度から学校全体で課題とすることを取り止めました。全員が「課題」として「本を読まされ書かされる」状態をなくして、「自由に本を読み感想文を書きたかったら書く」という状態にすることで、子どもの読書離れを食い止めたいと本気で思ったからです。そして、そのためには、周りの大人が読書を楽しむ姿を見せ、その楽しさを子どもに伝えることができるようにと、これまでの学校だよりでも「子どもと一緒に保護者の皆さん自身が本を読んでみてください」とお願いしてきました。きっと、昨年度も、今年度も、読書感想文に取り組んでいる子どもたちは、楽しく読書ができる子どもたちであり、周りの大人も読書を楽しむ姿を見せてくれているのだろうと心から嬉しく思います。

周りの大人といえば、臨海小には図書ボランティアの方々子どもたちが読書を楽しめるように図書室を楽しく飾りつけ、楽しい環境にしてくださっています。

また、学校図書館司書さんが毎週本の整備をしてくださっています。今年度図書室のすべての本にバーコードが貼られ、電算管理ができるようになりました。

子どもたちのために、読書環境を整えてくださっている方々には感謝の気持ちでいっぱいです。まことにありがとうございます。

臨海小の子どもたちが本好きな子どもになるように保護者の皆さんも「こころとあたまの、深呼吸。」をこの秋の夜長にしてみてください。

ドリームフェスティバルにご協力ありがとうございました

私はかねがね「保護者の皆さんのご理解ご協力があって、はじめて学校は力を発揮することができます。保護者の皆さんが学校に期待していることと、学校が頑張っていることのズレをなくしたい。保護者の皆さんの期待を裏切ることのないようにしたい。それには、連携を深めることです。連携を深めるとは、情報を伝え合って、意識のズレをなくし、一緒に子育てをすることだと私は思っています。子育ては楽しいことばかりではありません。だからこそ、一緒に考え、悩み、語り合いたいと思うのです。」と言ってきました。

それにもかかわらず、私は臨海小に赴任した一年目に、紆余曲折ありこれまでの臨海小PTA組織の形を維持することを止めてしまいました。そのせいでR4年度はPTA役員不在、R5年度はPTA会長不在という状態になってしまいました。新たな形のPTA組織「臨海小サポーター」体制としてR6年度はスタッフも会長も揃った良いスタートとなったものの、今年度集まったスタッフはまさかの3名…。保護者の皆さんと連携するどころか、保護者の皆さん同士のかかわりの場であるPTAを失くしてしまった責任を痛感していました。だけど、だからこそ、保護者と学校の連携の、象徴的な行事としてのドリームフェスティバルを失くしたくないと、私は声を上げました。すると思ったよりも多くの保護者の皆さんのご理解ご協力の声に感激しました。涙が出るほど嬉しかったです。子どもたちのために保護者と学校が連携してつくりあげたドリフェス！ 最高だったと思います。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

日本中多くの学校でPTAが消滅している現在、ドリフェス存続のために保護者の協力組織ができ、学校と情報を伝え合って連携し、一緒に子どものために活動することができる素晴らしい「サポーター組織」が臨海小には存在するというのは、それだけで素晴らしいことです。学校の教育活動全体に対しても、同じように連携できる「サポーター組織」であると私は思っています。その証拠に先日も多くの2年生保護者が「町探検」にご協力くださいました。ありがとうございました。

保護者の皆さん一人一人が「臨海小サポーター」として、学校を支えてくださっていることを私は心から嬉しく思います。それと同時に、そのような臨海小を誇りに思います。来年度は3名とはいわず、もっと多くの皆さんに「できる人が、できる時に、できることをする」という新たなPTAの形である「臨海小サポータースタッフ」にご協力をいただけることを心から願っています。

令和7年度 11月 行事予定 授業日19日

[illegible]